

事業概要

Ⅱ 各課の事業概要

1 健康科学課

健康科学課の業務は、細菌、ウイルス、臨床（表 1-1）及び理化学検査に関する試験検査業務と調査研究、並びに研究所の管理運営である。

細菌検査では、食中毒、苦情食品、収去食品、飲料水、プール水、河川水、浴槽水及び結核・感染症発生動向調査事業等に係る試験検査及び調査研究を行っている。

ウイルス検査では、結核・感染症発生動向調査事業に係る検査と調査研究、並びに食中毒及び感染症の集団発生時の検査を行っている。

臨床検査では、三歳児健康診査、被爆者健康診断に係る検査の他、特定感染症検査等事業実施要綱に基づき HIV 抗体検査等を行っている。

理化学検査では、食品、家庭用品等について GLP（検査結果の信頼性を担保するための検査業務管理制度）に則した試験検査のほか、食中毒・苦情食品等の理化学検査や飲料水及びプール水等の水質検査、医薬品等検査、室内空気中の化学物質検査などを実施している。

（1）細菌検査

ア 病原細菌検査

赤痢予防対策実施要綱に基づき、給食従事者及び保健所職員の定期検便等を実施した（表 1-2）。赤痢菌、チフス菌及び腸管出血性大腸菌等の病原菌は検出されなかった。

感染症法に基づき、感染症発生時に細菌検査を実施した（表 1-3）。

イ 食中毒発生時及び苦情食品の検査

食中毒及び苦情に伴う患者便、食品、拭き取り等について原因菌の検索を行った（表 1-4）。原因菌として、サルモネラ属菌等が検出された。

ウ 収去食品等の細菌検査

食品衛生法に基づく規格基準、千葉市の指導基準及び食品の汚染状況に係る細菌検査を実施した（表 1-5）。

エ 水質検査

水道法に基づく飲料水検査、千葉市遊泳用プール指導要綱に基づくプール水検査及び環境基本法等に基づく事業場排水、河川水、海水、海水浴場水の検査を実施した。また、公衆浴場法及び特定建築物維持管理指導要綱に基づき、浴槽水、冷却塔水等のレジオネラ検査を実施した。

水質細菌検査の種類及び項目数については、表 1-6 のとおりである。

（2）ウイルス検査

ア 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査（表 1-7）

（ア）麻疹ウイルス及び風疹ウイルス検査

保健所から依頼された咽頭ぬぐい液 65 検体、血液 60 検体及び尿 50 検体の計 175 検体について実施した。その結果、麻疹ウイルス及び風疹ウイルスは、それぞれ 1 症例 2 検体から検出された。その内訳は、麻疹ウイルスは A 型（ワクチン株）、風疹ウイルスは 2B 型であった。

（イ）デングウイルス及びチクングニアウイルス検査

保健所から依頼された血液 31 検体について検査を実施した。その結果、デングウイルス（1 型）は 2 検体、チクングニアウイルスは 1 検体から検出された。

（ウ）その他のウイルス検査

保健所及び病原体定点から依頼された咽頭ぬぐい液、糞便及び髄液等 450 検体について検査を実施した。

イ 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査（表 1-8）

食中毒及び感染症の集団発生時の食品、糞便、吐物、拭き取り及びその他の検体について、ノロウイルス及びその他のウイルス検査を実施した。また、ウイルスが検出された一部の検体については遺伝子解析（シーケンス）を実施した。

ウ 寄生虫検査

保健所から依頼された 18 検体について検査を実施した（表 1-1）。その結果、アニサキスが 1 検体、クドアセプトンククタータが 17 検体から検出された。

（3）臨床検査

ア 三歳児健康診査

三歳児健康診査について尿検査（一次、二次）を行った。一次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩、比重について、二次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩に沈査を追加して行った（表 1-9）。

一次検査 7,497 件のうち、有所見（糖・蛋白・潜血が±以上、白血球・亜硝酸塩が+以上）により行った二次検査数は 652 件（8.7%）であった。

イ 被爆者健康診断

被爆者健康診断に係る尿検査を行った（表 1-9）。

ウ HIV 抗体検査

特定感染症検査等事業に係る HIV 抗体検査を行った。スクリーニング及び確認検査は合計 791 件であり、最終判定で陽性は 0 件であった（表 1-10）。

表 1-1 平成 26 年度 健康科学課（細菌・ウイルス・臨床）検査件数

総 計		63,421
細菌	病原細菌	893
	食中毒細菌	7,219
	食品細菌	1,755
	結核菌	-
	飲料水細菌	1,229
	プール水細菌	24
	河川水、放流水等の細菌	260
	冷却塔水、浴槽水等	46
真菌	分離培養	-
ウイルス	分離同定(含食中毒と食品)	1,857
	HIV 抗体検査 (スクリーニング)	790
寄生虫	種同定	18
臨床	尿一般	49,330

表 1-2 平成 26 年度 腸内細菌検査実施状況

項 目	件 数
赤痢菌、チフス菌	313
腸管出血性大腸菌等	336
計	649

表 1-3 平成 26 年度 感染症発生時細菌検査実施状況

項 目	患者及び接触者等
赤痢菌	106
チフス菌	15
腸管出血性大腸菌	110
その他	13
計	244

表 1-4 平成 26 年度 食中毒発生時及び苦情食品等の細菌検査実施状況

区 分		総数	食品	糞便	吐物	ふきとり	その他
検 体 数		537	54	383	3	95	2
項 目 数		7,219	476	5,341	45	1,355	2
検 査 項 目	生菌数	0	-	-	-	-	-
	大腸菌群	0	-	-	-	-	-
	E.coli	0	-	-	-	-	-
	ビブリオ属菌	478	30	355	3	90	-
	黄色ブドウ球菌	481	32	356	3	90	-
	サルモネラ属菌	506	48	365	3	90	-
	カンピロバクター	481	32	356	3	90	-
	腸管出血性大腸菌	487	32	357	3	95	-
	病原大腸菌	478	30	355	3	90	-
	セレウス菌	481	32	354	3	90	2
	ウェルシュ菌	477	30	354	3	90	-
	エルシニア	477	30	354	3	90	-
	エロモナス	477	30	354	3	90	-
	プレジオモナス	477	30	354	3	90	-
	赤痢菌	488	30	365	3	90	-
	コレラ菌	477	30	354	3	90	-
チフス菌	477	30	354	3	90	-	
パラチフス菌	477	30	354	3	90	-	
検 出 状 況	<i>Campylobacter. jejuni</i>	2	-	2	-	-	-
	Salmonella. Enteritidis	12	1	11	-	-	-
	Salmonella. Typhimurium	3	-	3	-	-	-

表 1-5 平成 26 年度 収去食品等の細菌検査実施状況

項目 分類	総数	細菌検査項目																				
		細菌数	大腸菌群	E.coli: MPN	E.coli:	乳酸菌数	ビブリオ属菌	腸炎ビブリオ最確数	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	カンピロバクター	腸管出血性大腸菌	セレウス菌	ウエルシュ菌	リステリア	クロストリジウム属菌	恒温試験	腸球菌	VRE	緑膿菌	細菌試験	抗生物質
項目数	1,755	251	184	9	137	6	686	35	164	116	63	76	2	-	5	1	5	-	-	-	5	10
魚介類	262	23	-	9	14	-	157	35	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
冷凍食品 (無加熱摂取)	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前加熱)	40	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前未加熱)	47	23	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品	250	21	22	-	17	-	132	-	16	14	9	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肉卵類及び その加工品	268	15	9	-	28	-	90	-	28	57	15	25	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
乳製品	34	6	17	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類 氷菓	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及び その加工品	348	46	18	-	28	-	156	-	46	26	26	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果実及び その加工品	320	34	25	-	27	-	150	-	20	19	13	30	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
菓子類	120	40	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水	10	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳(3%未満)	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-

表 1-6 平成 26 年度 水質細菌検査実施状況

検査項目	件数
飲料水	
一般細菌	505
大腸菌	625
嫌気性芽胞菌	99
小計	1,229
プール水	
一般細菌	12
大腸菌群	12
小計	24
事業場排水	
大腸菌群数	102
河川水、海水	
大腸菌群数(最確数)	158
海水浴場水	
EHEC O157	1
小計	261
浴槽水・冷却塔水等	
レジオネラ	46
小計	46
総計	1,560

表 1-7 平成 26 年度 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査実施状況

		咽頭ぬぐい液 (うがい液含む)	鼻汁	糞便 等	髄液	尿	血液	その他	計
検 体 数	病原体定點	59	291	17	-	-	-	5	372
	保健所	90	1	15	15	53	104	6	284
	計	149	292	32	15	53	104	11	656
検 出 状 況	インフルエンザウイルス	4	71	1	1	-	-	-	77
	コクサッキーウイルス	18	1	1	-	-	-	1	21
	エコーウイルス	-	5	-	-	-	-	-	5
	ヒトライノウイルス	6	94	-	-	-	-	1	101
	ヒトコロナウイルス	1	14	-	-	-	-	-	15
	RS ウイルス	2	62	-	-	-	-	-	64
	ヒトメタニューモウイルス	4	51	-	-	-	-	-	55
	パラインフルエンザウイルス	6	22	1	-	-	-	-	29
	ヒトボカウイルス	5	47	-	-	-	-	-	52
	アデノウイルス	20	7	-	-	-	-	-	27
	単純ヘルペスウイルス	-	1	-	-	-	-	-	1
	ヒトヘルペスウイルス	3	-	1	2	1	3	1	11
	水痘帯状疱疹ウイルス	5	-	-	-	-	-	4	9
	麻疹ウイルス	1	-	-	-	-	1	-	2
	風疹ウイルス	1	-	-	-	-	1	-	2
	ヒトパレコウイルス	-	-	3	-	-	-	-	3
	A 型肝炎ウイルス	-	-	1	-	-	-	-	1
	ノロウイルス	-	-	7	-	-	-	-	7
	ロタウイルス	-	-	2	-	-	-	-	2
	デングウイルス	-	-	-	-	-	2	-	2
チクングニアウイルス	-	-	-	-	-	1	-	1	

表 1-8 平成 26 年度 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査実施状況

		食品	糞便	吐物	拭き取り	その他	計
項 目 別 検 体 数	ノロウイルス	36	428	3	22	-	489
	その他のウイルス (※)	26	387	3	22	-	438
	遺伝子解析	-	99	-	-	-	99
	計	62	914	6	44	-	1,026
検 出 状 況	ノロウイルス G I	-	22	-	-	-	22
	ノロウイルス G II	-	135	-	-	-	135
	サポウイルス	-	19	-	-	-	19
	アストロウイルス	-	3	-	-	-	3
	ロタウイルス	-	3	-	-	-	3

(※) その他のウイルス：サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルス及びアデノウイルス

表 1-9 平成 26 年度 臨床検査実施状況

検査項目		区 分	総 数	内 訳			被爆者健診
				三歳児健診			
				一次	二次	合計	
尿	糖		8,258	7,497	652	8,149	109
	蛋白		8,258	7,497	652	8,149	109
	ウロビリノーゲン		109	-	-	-	109
	潜血反応		8,258	7,497	652	8,149	109
	白血球		8,149	7,497	652	8,149	-
	亜硝酸塩		8,149	7,497	652	8,149	-
	比重		7,497	7,497	-	7,497	-
	沈渣		652	-	652	652	-

表 1-10 平成 26 年度 HIV 抗体検査実施状況

項目	件数	陽性数
スクリーニング検査	790	1
確認検査	1	0

(4) 理化学検査

ア 食品等検査

平成 26 年度の理化学検査総数は、食品等 1, 129 検体、22, 441 項目であった。

(7) 食品中の添加物等検査、乳及び乳製品・容器包装等の規格試験検査、重金属検査、自然毒検査

a 添加物等検査

甘味料 316 項目、着色料 1, 905 項目、保存料 262 項目、酸化防止剤 112 項目、漂白・殺菌剤 14 項目、発色剤 23 項目、防ばい剤 2 項目、品質保持剤 12 項目、乳化剤 10 項目を実施した (表 1-11-1)。

b 乳及び乳製品

乳等規格検査 53 項目を実施した (表 1-11-1)。

c 容器包装等規格検査

容器包装等規格検査 42 項目 (器具容器包装の重金属検査 17 項目を含む) を実施した (表 1-11-1)。

d 重金属検査

魚介類、清涼飲料水、器具容器包装などについて 149 項目 (容器包装等規格検査項目に計上した器具容器包装の重金属 17 項目及び添加物規格 (重金属) の 4 項目を含む) を実施した (表 1-11-1~2)。

e 自然毒検査

カビ毒、貝毒について 10 検体 13 項目を実施した (表 1-11-1、表 1-11-3)。

(イ) 農産物等の残留農薬検査

穀類及びその加工品 5 検体 810 項目、農産物 (豆類、果実、野菜、種実、茶) 82 検体 13, 606 項目、学校給食食材 11 検体 11 項目、その他の食品 10 検体 570 項目、苦情品 33 検体、1, 651 項目を実施した。

以上、全体で 194 種類の農薬について、合計 141 検体 16, 648 項目の検査を実施した (表 1-11-1、表 1-11-4-1~4)。

(ロ) 畜水産物中の残留動物用医薬品の検査

乳 (生乳・牛乳・加工乳) 13 検体 208 項目、鶏卵 9 検体 171 項目、食肉 (牛肉・豚肉・鶏肉) 39 検体 816 項目 (うち 2 検体 2 項目は学校給食)、魚介類 (コイ・マダイ等 9 種) 19 検体 118 項目を実施した。

以上、23 種類の動物用医薬品について 80 検体 1, 313 項目の検査を実施した (表 1-11-5)。

(ハ) 組換え DNA 技術応用食品の検査

トウモロコシ 5 検体 5 項目の検査を実施した (表 1-11-6)。

(ニ) 流通食品中の放射能検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の汚染状況について、流通食品および給食 (提供食・食材) の検査を 663 検体実施した。(表 1-11-7)。

(ホ) 苦情食品検査

保健所から依頼された苦情食品検査は 44 検体で、依頼項目は 1, 893 項目であった (表 1-11-8~9)。

イ 家庭用品の規格検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、健康被害を防止するため、ホルムアルデヒド等 11 物質について検査を行った。内訳は繊維製品 13 種 153 項目、家庭用化学製品 8 種 36 項目であり、合計 21 種 189 項目の検査を実施した (表 1-12)。

ウ 飲料水等及び遊泳用プール水の水質検査

飲料水等の水質検査は、水道法の「水質基準に関する省令」に基づき、51 基準項目 (31 健康項目 + 20 性状項目) について実施した。また、「千葉市遊泳用プール指導要綱」に基づきプール水の検査を行なった。

平成 26 年度の全検査件数は 831 件で、このうち飲料水等の水質検査は 818 件、プール水は 13 件であった (表 1-13-1)。

自家用井戸水の検査件数 395 件中 59 件 (14. 9%) で不適項目があった (表 1-13-2)。

必須項目検査を実施した自家用井戸水 (244 件) の検査結果を区別、項目別に集計した (表 1-13-3)。また、平成 26 年度に検査を実施した飲料水等の検査項目別理化学検査件数と不適合数を表 1-13-4 に示した。なお、プール水の検査状況は表 1-13-5 のとおりであった。

エ 室内空気化学物質の検査

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく依頼検査を 11 件 47 検体について実施した (表 1-14)。

表 1-11-1 平成 26 年度 食品理化学等検査実施状況

検査項目 検査検体の種類	総検体数	食品添加物等										乳等規格	容器包装等規格	重金属	カビ毒・貝毒	残留農薬	動物用医薬品	組換えDNA技術応用食品	放射能	その他	総検査項目数	
		甘味料	着色料	保存料	酸化防止剤	漂白・殺菌剤	発色剤	防ばい剤	品質保持剤	乳化剤												
検査区分合計	1,129	316	1,905	262	112	14	23	2	12	10	53	42	11	132	13	16,648	1,313	5	1,326	242	22,441	
食品等	魚介類	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	6	-	118	-	110	2	324	
	冷凍食品	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,813	-	-	-	-	1,813	
	魚介類加工品	49	74	396	75	10	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	575	
	肉卵類及びその加工品	80	-	168	17	12	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	987	-	24	-	1,225	
	乳製品	51	24	48	41	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	52	-	181
	アイスクリーム類・氷菓	11	20	120	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	145
	穀類及びその加工品	25	4	108	2	4	-	-	-	11	-	-	-	-	-	810	-	2	8	11	960	
	野菜類・果物及びその加工品	207	64	366	65	4	12	-	2	-	-	-	-	-	7	12,374	-	3	150	-	13,047	
	菓子類	56	110	603	42	70	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	847
	清涼飲料水	47	20	84	20	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	74	-	-	238
	かん詰・びん詰食品	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
	その他の食品	414	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	828	-	828
	添加物及びその製剤	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	4	-	-	-	-	-	-	15
	器具容器包装	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	42
	生乳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	32	-	-	-	36
	牛乳	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	160	-	24	-	224
	加工乳(乳脂肪分3%未満)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	16	-	4	-	22
その他の乳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	
その他	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	10	
小計	1,085	316	1,893	262	112	14	22	2	12	10	53	42	11	132	13	14,997	1,313	5	1,326	13	20,548	
苦情品(食品等)	44	-	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,651	-	-	-	229	1,893	

表 1-11-2 平成26年度 重金属検査

項目名	検体名																	総計
		アユ	ウナギ	クルマエビ	コイ	スズキ	ニジマス	ハマチ・ブリ	ヒラメ	マダイ	アサリ	ホタテガイ	ムールガイ	清涼飲料水	器具容器包装	添加物	苦情品	
検体数		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	10	5	2	0	31	
ヒ素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	10	
鉛		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	10	-	-	-	24	
カドミウム		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	10	-	-	-	24	
スズ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	10	
マンガン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
亜鉛		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	14	
水銀		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	14	
銅		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	14	
TBTO		-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	1	-	-	-	-	9	
TPT		-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	1	-	-	-	-	9	
メチル水銀		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
ヒ素 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	
鉛 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
重金属 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	
重金属 (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5	
鉛 (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5	
カドミウム (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5	
アンチモン (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
ゲルマニウム (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
合計		5	5	7	5	7	10	14	7	7	7	7	40	17	4	0	149	

表 1-11-3 平成26年度 自然毒検査

項目名	検体名						総計
		らつかせい	アーモンド	アサリ	ムールガイ	ホタテガイ	
検体数		6	1	1	1	1	10
アフラトキシン		6	1	-	-	-	7
下痢性貝毒		-	-	1	1	1	3
麻痺製貝毒		-	-	1	1	1	3
合計		6	1	2	2	2	13

表 1-11-4-1 平成26年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 収去・買上検査）

分類	検体種	検体数	項目数
穀類及びその加工品	小麦粉	5	810
豆類	らっかせい	5	750
果実	いちご	2	346
野菜	未成熟いんげん	1	172
	かぼちゃ	1	164
	カリフラワー	1	152
	キャベツ	7	1,168
	きゅうり	4	681
	ごぼう	1	177
	こまつな	7	1,184
	さといも	5	817
	サラダ菜	2	346
	すいか	2	346
	だいこん	1	176
	たまねぎ	1	160
	トマト	4	693
	なす	1	165
	にんじん	6	1,051
	ねぎ	4	673
	ばれいしょ	1	167
	ピーマン	4	681
	ブロッコリー	3	503
	ほうれんそう	6	1,012
	らっきょう	1	160
レタス	2	324	
れんこん	1	157	
わけねぎ	2	331	
種実類	アーモンド	1	150
	その他のナッツ類	1	150
茶	茶	5	750
その他	冷凍食品等	10	570
	合 計	97	14,986

表 1-11-4-2 平成26年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 給食食材）

分類	検体種	検体数	項目数
野菜	キャベツ	1	1
	きゅうり	1	1
	こまつな	1	1
	トマト	2	2
	にら	1	1
	ねぎ	2	2
	ブロッコリー	1	1
	ほうれんそう	1	1
果物	みかん	1	1
	合 計	11	11

表 1-11-4-3 平成26年度 農作物等の残留農薬検査（農薬別 収去・買上、給食食材検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	87	ジスルホトン	10	フェンバレレート（合算）	87
DDT	80	シハロトリン（合算）	87	フェンプロナゾール	82
EPN	17	ジフェナミド	87	フェンプロパトリン	87
XMC	80	ジフェノコナゾール（合算）	87	フェンプロビモルフ	80
アクリナトリン	87	シフルトリン（合算）	87	フサライド	87
アザコナゾール	82	ジフルベンズロン	62	ブタミホス	97
アジンホスエチル	10	シプロコナゾール（合算）	87	ブピリメート	87
アジンホスメチル	10	シベルメトリン（合算）	80	ブプロフェジン	87
アセタミプリド	77	シマジン	87	フラムプロップメチル	87
アセトクロール	87	ジメタメトリン	80	フルアクリピリム	87
アセフエート	10	ジメチルビンホス（合算）	97	フルシトリネート（合算）	87
アトラジン	72	ジメトエート	97	フルシラゾール	70
アメトリン	57	ジメピペレート	87	フルトラニル	72
アルジカルブ	49	シラフルオフェン	63	フルトリアホール	87
アルドリン及びディルドリン	37	スルプロホス	10	フルバリネート（合算）	87
イサゾホス	87	ダイアジノン	97	フルフェノクスロン	62
イソキサチオン（代謝体含）	97	チオベンカルブ	87	フルミオキサジン	87
イソフェンホス	97	チオメトン	90	フルミクロラックベンチル	72
イソプロカルブ	87	テトラクロルピンホス	87	ブレチラクロール	87
イソプロチオラン	87	テトラジホン	87	プロシミドン	87
イブロジオン	70	テニルクロール	87	プロチオホス	90
イブロバリカルブ	62	テブコナゾール	87	プロバクロール	80
イブロベンホス	97	テブフェノシト	49	プロバニル（DCPA）	72
イマザメタベンズメチルエステル	75	テブフェンピラド	87	プロバホス	10
イミベンコナゾール	78	テフルトリン	87	プロバルギット（合算）	87
エスプロカルブ	87	テフルベンズロン	62	プロビコナゾール（合算）	87
エチオン	97	デルタメトリン	87	プロビザミド	87
エディフェンホス	97	テルブホス	97	プロフェノホス	97
エトフメセート	87	トリアジメノール（合算）	87	プロボキスル	87
エトプロホス	97	トリアジメホン	87	プロマシル	87
エトリムホス	97	トリアゾホス	87	プロメトリン	87
エンドスルファン（和）	87	トリアレート	80	プロモブチド	87
エンドリン	34	トリブホス（DEF）	87	プロモプロビレート	87
オキサジアゾン	87	トリフロキシストロピン	87	プロモホスエチル	10
オキサジキシル	87	トルクロホスメチル	97	プロモホスメチル	70
オキサミル	49	トルフェンピラド	87	ヘキサジノン	82
オキシフルオルフェン	87	ナプロバミド	87	ベナラキシル	87
オメトエート	10	ニトロタールイソプロピル	87	ベノキサコル	87
カズサホス	97	ノルフルラゾン	87	ヘプタクロール	63
カルバリル	62	バクロブトラゾール	87	ベルメトリン（合算）	80
カルフェントラゾンエチル	87	バミドチオン	10	ベンダイオカルブ	62
カルボフラン	87	バラチオン	96	ペンディメタリン	87
キナルホス	67	バラチオンメチル	97	ペンフルラリン	80
キノキシフェン	87	ハルフェンブロックス	80	ペンフレセート	87
キノクラミン	52	ピテルタノール（合算）	87	ホサロン	97
キントゼン	73	ピフェントリン	87	ホスチアゼート（合算）	97
クマホス	10	ビペロホス	87	ホスファミドン	92
クロマゾン	87	ビラクロホス	97	ホスメット	82
クロルタールジメチル（TCTP）	87	ビラゾホス	87	ホルモチオン	10
クロルデン	63	ビリダフェンチオン	97	ホレート	90
クロルピリホス	108	ビリダベン	87	マラチオン	97
クロルピリホスメチル	97	ビリフェノックス（和）	87	ミクロブタニル	82
クロルフェンビンホス（合算）	97	ビリプロキシフェン	87	メタミドホス	10
クロフルアズロン	49	ビリミカルブ	62	メトラキシル	87
クロルプロファム	87	ビリミホスメチル	97	メチオカルブ	70
クロルベンジレート	87	ピンクロゾリン	87	メチダチオン	97
サリチオン	10	フェナミホス	97	メトキシクロル	87
シアノフェンホス	10	フェナリモル	87	メトミノストロピン（和）	87
シアノホス	97	フェニトロチオン	97	メトラクロール	87
ジエトフェンカルブ	87	フェノチオカルブ	87	メフェナセツト	87
ジクロフェンチオン	10	フェノトリン（合算）	80	メプロニル	87
ジクロホップメチル	87	フェノブカルブ	62	モノクロトホス	92
ジクロラン	87	フェンスルホチオン	92	ルフェヌロン	62
ジクロルボス	10	フェンチオン	97	レナシル	83
ジコホール（合算）	70	フェントエート	97	合計	14,997

表 1-11-4-4 平成26年度 苦情食品、食中毒等の残留農薬検査（農薬別検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	9	ジスルホトン	2	フェンバレレート（合算）	9
DDT	9	シハロトリン（合算）	9	フェンブコナゾール	9
EPN	11	ジフェナミド	9	フェンプロパトリン	9
XMC	9	ジフェノコナゾール（合算）	9	フェンプロピモルフ	9
アクリナトリン	9	シフルトリン（合算）	9	フサライド	9
アザコナゾール	9	ジフルベンズロン	0	ブタミホス	11
アジンホスエチル	2	シブコナゾール（合算）	9	ブピリメート	9
アジンホスメチル	2	シペルメトリン（合算）	9	ブプロフェジン	9
アセタミプリド	9	シマジン	9	フラムプロップメチル	9
アセトクロール	9	ジメタメトリン	9	フルアクリピリム	9
アセフェート	11	ジメチルビンホス（合算）	11	フルシトリネート（合算）	9
アトラジン	9	ジメトエート	11	フルシラゾール	0
アメトリン	9	ジメピペレート	9	フルトラニル	9
アルジカルブ	0	シラフルオフェン	0	フルトリアホール	9
アルドリン及びディルドリン	9	スルプロホス	11	フルバリネート（合算）	9
イサゾホス	9	ダイアジノン	11	フルフェノクスロン	0
イソキサチオン（代謝体含）	11	チオベンカルブ	9	フルミオキサジン	9
イソフェンホス	11	チオメトン	11	フルミクロラックペンチル	9
イソプロカルブ	9	テクナゼン	9	ブレチラクロール	9
イソプロチオラン	9	テトラクロルビンホス	9	プロシミドン	9
イブロジオン	0	テトラジホン	9	プロチオホス	11
イブロバリカルブ	0	テニルクロール	9	プロバクロール	9
イブロベンホス	11	テブコナゾール	9	プロパニル（DCPA）	9
イマザメタベンズメチルエステ	9	テブフェノシト	0	プロバホス	11
イミベンコナゾール	9	テブフェンピラド	9	プロバルギット（合算）	9
エスプロカルブ	9	テフルトリン	9	プロビコナゾール（合算）	9
エチオン	11	テフルベンズロン	0	プロビザミド	9
エディフェンホス	11	デルタメトリン	9	プロフェノホス	11
エトフメセート	9	テルブホス	11	プロボキシル	9
エトプロホス	11	トリアジメノール（合算）	9	プロマシル	9
エトリムホス	11	トリアジメホン	9	プロメトリン	9
エンドスルファン（和）	9	トリアゾホス	9	プロモブチド	9
エンドリン	9	トリアレート	9	プロモプロピレート	9
オキサジアゾン	9	トリブホス（DEF）	9	プロモホスエチル	2
オキサジキシル	9	トリフロキシストロビン	9	プロモホスメチル	0
オキサミル	0	トルクロホスメチル	11	ヘキサジノン	9
オキシフルオルフェン	9	トルフェンピラド	9	ベナラキシル	9
オメトエート	2	ナプロパミド	9	ベノキサコル	9
カズサホス	11	ニトロータールイソプロピル	9	ヘプタクロール	0
カルバリル	0	ノルフルラズン	9	ペルメトリン（合算）	9
カルフェントラズンエチル	9	パクロブトラゾール	9	ベンダイオカルブ	0
カルボフラン	9	バミドチオン	2	ペンディメタリン	9
キナルホス	11	パラチオン	11	ベンフルラリン	9
キノキシフェン	9	パラチオンメチル	11	ベンフレセート	9
キノクラミン	9	ハルフェンプロックス	9	ホサロン	11
キントゼン	9	ピテルタノール（合算）	9	ホスチアゼート（合算）	11
クマホス	2	ビフェントリン	9	ホスファミドン	11
クロマゾン	9	ピペロホス	9	ホスメット	11
クロルタールジメチル（TCTP）	9	ピラクロホス	11	ホルモチオン	11
クロルデン	0	ピラゾホス	9	ホレート	11
クロルピリホス	11	ピリダフェンチオン	11	マラチオン	11
クロルピリホスメチル	11	ピリダベン	9	マイクロブタニル	9
クロルフェンビンホス（合算）	11	ピリフェノックス（和）	9	メタミドホス	11
クロルフルアズロン	0	ピリプロキシフェン	9	メタラキシル	9
クロルプロファミ	9	ピリミカルブ	0	メチオカルブ	0
クロルベンジレート	9	ピリミホスメチル	11	メチダチオン	11
クロロピクリン	25	ピンクロズリン	9	メトキシクロル	9
サリチオン	11	フェナミホス	11	メトミノストロビン（和）	9
シアノフェンホス	11	フェナリモル	9	メトラクロール	9
シアノホス	11	フェニトロチオン	11	メフェナセット	9
ジエトフェンカルブ	9	フェノチオカルブ	9	メプロニル	9
ジクロフェンチオン	11	フェノトリン（合算）	9	モノクロトホス	11
ジクロホップメチル	9	フェノブカルブ	0	ルフェヌロン	0
ジクロラン	9	フェンスルホチオン	11	レナシル	9
ジクロルボス	11	フェンチオン	11		
ジコホール（合算）	9	フェントエート	11	合計	1,651

表 1-11-5 平成 26 年度 畜水産物中の残留動物用医薬品検査

検体名 項目名	牛乳	加工乳	生乳	鶏卵	牛肉	豚肉	鶏肉	アユ	マダイ	コイ	ニジマス	ウナギ	ヒラメ	クルマエビ	ブリ(ハマチ)	生食用カキ	総計
	10	1	2	9	13	1	25	1	1	1	2	1	1	1	2	9	
オキシテトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	9	78
クロルテトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
テトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
スピラマイシン	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	1	1	2	9	19
スルファメラジン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジミジン	10	1	2	9	13	1	25	1	1	1	2	1	1	1	2	-	71
スルファモノメトキシシ	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジメトキシシ	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファキノキサリン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジアジン	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファチアゾール	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファドキシシ	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファメトキサゾール	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
オキシリン酸	10	1	2	-	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	60
チアンフェニコール	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
オルメトプリム	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
チアベンダゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
フルベンダゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
トリメトプリム	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
レバミゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
オフロキサシ	-	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
オルビロキサシ	-	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
合計	160	16	32	171	286	1	529	10	10	10	20	10	10	10	20	18	1,313

表 1-11-6 平成 26 年度 組換え DNA 技術応用食品検査

品 種	検体種類	項 目	検体数	項目数
トウモロコシ	加工食品	トウモロコシ (CBH351)	5	5

表 1-11-7 平成 26 年度 放射能検査

対 象 食 品	検体数	依頼元
流通食品	250	食品安全課
保育所給食	陰膳 (提供食検査)	保育運営課
	食材検査	
学校給食	陰膳 (提供食検査)	保健体育課
	食材検査	
合 計	663	

表 1-11-8 平成 26 年度 苦情食品検査 (理化学検査)

搬入月	検 体 の 種 類	検体数	検 査 項 目
4 月	たらこ	1	亜硝酸根、着色料(12 項目)
5 月	冷凍たこ焼き	5	農薬(168 項目, 1 検体のみ)、揮発性有機化合物(19 項目)
6 月	トマト	3	農薬(168 項目)、揮発性有機化合物(19 項目, 1 検体のみ)
7 月	にんにく	1	農薬(168 項目)
8 月	落花生	3	農薬(168 項目, 1 検体のみ)、揮発性有機化合物(19 項目, 1 検体のみ)、クロビ°クリン
9 月	落花生	21	クロビ°クリン
	ペットボトル水	1	農薬(168 項目)
1 1 月	落花生	1	クロビ°クリン
1 2 月	即席中華麺	1	農薬(57 項目)
1 月	肉まん	3	農薬(168 項目, 1 検体のみ)、揮発性有機化合物(19 項目)
2 月	もち	1	農薬(168 項目)、揮発性有機化合物(19 項目)
	精米	1	鑑別
	生のり	1	揮発性有機化合物(19 項目)
3 月	中華風の素	1	農薬(57 項目)

苦情食品等検査依頼数 14 件 依頼検体数 44 検体 1,893 項目

表 1-11-9 平成 26 年度 項目別苦情食品等検査依頼件数

項 目	依頼件数
農薬 (168 項目, 57 項目, クロビ°クリン)	11
揮発性有機化合物	6
鑑別	1
亜硝酸根	1
着色料	1

表 1-12 平成 26 年度 家庭用品検査

検体名	項目名	ホルムアルデヒド			有機水銀	デイルドリン	水酸化カリウム・水酸化ナトリウム	メタノール	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	容器試験	ジベンゾ（a・h）アントラセン	ベンゾ（a）アントラセン	ベンゾ（a）ピレン	検査数合計	検体数合計
		生後二十四ヶ月以内のもの	生後二十四ヶ月以内を除くもの	小計												
試験検査数合計		71	19	90	58	15	2	4	6	6	2	2	2	2	189	110
基準違反数合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 製 品	おしめ	3	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3
	おしめカバー	3	-	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3
	よだれ掛け	5	-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5
	下着	10	6	16	16	3	-	-	-	-	-	-	-	-	35	16
	中衣	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	外衣	8	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	11	8
	手袋	3	3	6	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	15	6
	くつした	9	6	15	15	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33	15
	帽子	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6
	衛生パンツ	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	寝衣	10	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12
寝具	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
家庭用毛糸	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
小計		71	17	88	50	15	0	0	0	0	0	0	0	0	153	92
家庭用化学製品	家庭用接着剤	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	くつしたどめ等接着剤	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用塗料	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用ワックス	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	くつ墨・くつクリーム	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用エアゾル製品	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-	-	-	12	4
	家庭用洗浄剤	-	-	-	-	-	2	-	2	2	2	-	-	-	8	2
	防腐木材・防虫木材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	6	2
小計		0	2	2	8	0	2	4	6	6	2	2	2	2	36	18

表 1-13-1 平成 26 年度 飲料水等及びプール水の検査種別件数

検体名	検査種別	一般依頼件数	保健所依頼件数	合計
飲料水等	全項目検査	18	1	19
	省略不可能項目検査	61	0	61
	必須項目検査	389	7	396
	有機塩素系検査	126	0	126
	給水設備関連項目検査	14	0	14
	消毒副生成物検査	9	0	9
	原水項目検査	9	0	9
	単項目検査（細菌検査分を含む）	184	0	184
	小 計	810	8	818
プール水		13	0	13
合 計		823	8	831

表 1-13-2 平成 26 年度 飲料水等の検体種別検査結果

検体種別	検査件数	適合件数	不適合件数	不適合率（%）
自家用井戸水	395	336	59	14.9
専用水道原水	98	95	3	3.1
専用水道浄水	233	226	7	3.0
小規模専用水道原水	12	10	2	16.7
小規模専用水道浄水	19	16	3	15.8
小規模簡易専用水道	1	1	0	0.0
その他	60	59	1	1.7
合 計	818	743	75	9.2

表 1-13-3 平成 26 年度 自家用井戸水における区別必須項目検査結果

項目 区名	検査 件数	不 適合 数	不 適合 率 (%)	項 目 別 不 適 合 数									
				一般 細菌	大腸菌	亜硝酸 態窒素	硝酸・ 亜硝酸 態窒素	塩素 イオン	有機 物	pH 値	臭気	色度	濁度
中央区	19	6	31.6	4	1	1	-	-	-	-	1	-	-
花見川区	25	3	12.0	2	-	-	2	-	-	-	-	1	1
稲毛区	24	5	20.8	3	1	1	2	-	-	-	1	-	-
若葉区	119	25	21.0	12	1	-	8	-	1	-	1	1	1
緑区	55	12	21.8	7	2	-	4	-	-	-	-	-	1
美浜区	2	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	244	51	20.9	28	5	2	16	0	1	0	3	2	3

表 1-13-4 平成 26 年度 項目別飲料水等理化学検査

	検査件数	不適合数	不適合率(%)
亜硝酸態窒素	499	3	0.6
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	502	17	3.4
塩化物イオン	499	0	-
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	499	1	0.2
pH値	499	0	-
臭気	500	5	1.0
色度	499	2	0.4
濁度	499	5	1.0
カドミウム	28	0	-
水銀	28	0	-
セレン	28	0	-
鉛	42	0	-
ヒ素	35	0	-
六価クロム	28	0	-
シアン化物イオン及び塩化シアン	98	0	-
臭素酸	89	0	-
ホルムアルデヒド	89	0	-
フッ素	31	0	-
亜鉛	42	0	-
鉄	50	2	4.0
銅	42	0	-
ナトリウム	28	0	-
マンガン	49	2	4.1
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	44	3	6.8
蒸発残留物	53	0	-
陰イオン界面活性剤	28	0	-
フェノール類	28	0	-
ホウ素	28	0	-
1,4-ジオキサン	28	0	-
アルミニウム	28	1	3.6
非イオン界面活性剤	28	0	-
ジオスミン	28	0	-
2-メチルイソボルネオール	28	0	-
クロロ酢酸	89	0	-
ジクロロ酢酸	89	0	-
トリクロロ酢酸	89	0	-
ジクロロメタン	28	0	-
シス1,2-ジクロロエチレン及びトランス1,2-ジクロロエチレン	28	0	-
ベンゼン	28	0	-
クロロホルム	89	0	-
ジブロモクロロメタン	89	0	-
ブロモジクロロメタン	89	0	-
ブロモホルム	89	0	-
総トリハロメタン	89	0	-
四塩化炭素	154	1	0.6
テトラクロロエチレン	154	0	-
トリクロロエチレン	154	2	1.3
1,1,1-トリクロロエタン	126	0	-
塩素酸	89	1	1.1
合 計	6,988	45	

表 1-13-5 平成 26 年度 プール水検査

検査項目	検査件数
pH値	12
濁度	12
有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	12
総トリハロメタン	1
合計	37

表 1-14 平成 26 年度 室内中化学物質検査

項目	検査件数	検体数
ホルムアルデヒド	11	47

表 1-15 平成 26 年度 精度管理に関する業務

	内部精度管理		外部精度管理		
	実施頻度	実施項目	実施項目数 実施検体数	実施項目	実施機関
食品等	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	6項目 4検体	<ul style="list-style-type: none"> ゼリー菓子中の着色料の定性 漬物中のソルビン酸の定量 鶏肉ペースト中のスルファジミジンの定量 とうもろこしペースト中の6種農薬中3種農薬の定性と定量 	一般財団法人食品薬品安全センター
家庭用品	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	-	-	-
飲料水等	-	-	2項目 2検体	蒸発残留物 陰イオン界面活性剤	千葉県水道水質管理連絡協議会 (水質検査精度管理委員会)
			2項目 2検体	マンガン及びその化合物 1,4-ジオキサン	厚生労働省

(5) 内部精度管理・外部精度管理

検査の信頼性確保を目的として「千葉県食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」等に基づき、内部精度管理・外部精度管理を行った。

ア 細菌検査

各検査は、「標準作業書」に基づき実施した。また、食品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 内部精度管理

検査精度確認のため、生菌数検査を年3回実施した。

(イ) 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センターから送付された検体について、微生物学的調査（黄色ブドウ球菌検査）を実施した。

イ ウイルス検査

全国地衛研外部精度管理（EQA）のインフルエンザウイルス核酸検出検査（リアルタイムRT-PCR法）、ノロウイルス遺伝子定量検査（リアルタイムPCR法）及び麻疹ウイルス遺伝子検出検査（RT-PCR法）に参加した。

各検査は、国立感染症研究所から送付された検体について実施した。

ウ 理化学検査

内部精度管理は、食品等や家庭用品の理化学検査試行毎精度確認であり、外部精度管理は、外部機関から送付される擬似食品等を通常と同様に検査を行い、他の検査施設との比較を目的に行うもので、食品等や飲料水等の理化学検査について行った。（表1-15）。

各検査は、「標準作業書」に基づき実施し、「検査標準作業書」は常に見直し、必要な改定を実施した。また、食品等や家庭用品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 食品等検査

a 内部精度管理

検査精度確認のため、試験品の検査頻度に応じ、検査項目ごとに添加回収試験を実施した。

b 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センターから送付された検体について延べ4回の検査を実施した。

(イ) 家庭用品検査

保健所が「千葉県家庭用品監視指導要領」に基づき試買した検体の検査については、「千葉県家庭用品検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき実施した。

内部精度管理として、検査項目毎に件数に応じた頻度での添加回収試験を実施した。

(ウ) 飲料水等検査

千葉県水道水質管理連絡協議会及び厚生労働省が実施する外部精度管理に参加し、延べ3回4項目について実施した。